

第6回岡垣町総合計画審議会 会議録

日 時：令和3年1月18日（月）13：30～

場 所：岡垣町役場 本館3階 大会議室

出席者：委員10名

（事務局）：企画政策室3名

（委託業者）：1名

※この会議録は主な要点を抜粋し、作成しています。また、委員名については非公開としています。

1 会長あいさつ

緊急事態宣言が出されており、コロナ禍ではあるが、コロナ対策を取りながら会議を進行させていただきたい。また、審議会も残り2回となり、実質、今回の審議が最後となるため、しっかりと議論をしていきたいと思うので、協力をお願いしたい。

2 審議事項

『第6次総合計画素案について』

資料1 第5回総合計画審議会議事録について

資料2 まちの未来計画（岡垣町第6次総合計画）（案）の変更点について

資料3 まちの未来計画（岡垣町第6次総合計画）（案）

※資料3-1 まちの将来像について（案）

（参考資料）

①まちづくりの成果指標一覧（案）について

○会長から資料1、事務局から資料2・資料3（P28まで）・資料3-1について説明

■資料1 第5回審議会議事録について

質疑なし→承認のため、ホームページに公開

■資料2・資料3（P28まで）・資料3-1について

ポイント

- ・タイトルについて、「みんなでつくるまちの未来計画」としていたが、協働で全てまちづくりを行うのかと誤解を与えるため、タイトルを「まちの未来計画」へ修正。
- ・序論部分については、軽微な修正を行い、三つのアンケートの概要についてのページを追加。
- ・将来像については『岡垣らしい しあわせ』をコンセプトに3案示している。新しい町長と協議し、最終的に事務局で将来像をまとめ、2月4日の審議会で発表。

- ①自然と共生する やさしさのある しあわせ実感都市 岡垣
 - ②自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣
 - ③みんなでつくる しあわせ実感都市 岡垣
- ・将来の人口フレームについては、2060年（40年後）から2040年（20年後）に変更を行った。2060年までしていた理由としては、インフラや公共施設の更新時期などを鑑みていたためである。しかし、総合計画の計画期間が10年であり、現在策定している都市計画マスタープランは20年間の計画で、かつ総合計画に即した計画となるため、将来人口フレームを2040年（20年間）に変更。
 - ・将来像を実現するための基本目標について、今までは4つの基本目標としていたが、防災と福祉が同じジャンルであることに違和感があったため、組み合わせを変え、5つの基本目標に変更。「都市基盤」「防災」「防犯」を基本目標5「安全・快適に暮らせる持続可能なまち」として設定。
 - ・重点テーマの考え方を個別の基本施策では実現が難しい課題に対応するために特に優先して実施する取組と整理した。テーマの設定としては、「人口減少や少子高齢化社会に対応するため、優先的に取組が必要な事業」「住民のアンケートなどにより、改善ニーズが高い事業」などとしている。重点テーマは「子育て」「健康・福祉」「都市づくり」「安全・安心」「魅力発信」の5つで設定。
 - ・前回審議会までは、伝える” “育てる” “広げる” のコンセプトで「みんなでつくるまちづくり目標」を設定していたが、多くの政策で示す表現が重なることとなり、見た目上複雑となるため、「みんなでつくるまちづくり目標」という表現を変更し、「岡垣町の協働のまちづくり」「これからの協働のまちづくりの基本方向」の二つに分けて、協働についてまとめている。基本方向では、好循環についてや好循環を生むための各主体の役割を示している。また、協働のまちづくりの推進目標を実施計画の段階で、施策ごとに掲げ、毎年度評価していく。

<質疑>

●将来ビジョンについて

委員：将来像については、先ほどの事務局の説明で進めてもらえたらよいと思う。

委員：将来像の案を三つ提示していただいているが、一つ目の将来像で、「自然と共生する」と「やさしさのある」の間にスペースがあった方がよい。「自然と共生するやさしさ」の意味になってしまうので。

事務局：将来像の選定にあわせ検討したい。

●基本目標・重点テーマ・協働のまちづくりについて

委員：全体的に見やすくなっているが、重点テーマに挙げている「魅力発信」については、関連施策が少ない。重点となっている施策が基本目標3・4・5に偏っているため、検討してはどうか

事務局：魅力発信については、自然や観光なども含んだ取組みであり、その代表としてP.71の「町の魅力を発信し、定住人口・交流人口などの増加を図ります」の施策をあげているが、基本目標1、2にも該当する部分があるので検討したい。

委員：基本目標、体系図、重点プロジェクトの順で示しているが、ページの流れが悪い。体系図を入れる場所を検討してはどうか。

事務局：ページの流れについては、施策体系図の配置等を検討したい。

委員：基本目標4では「健康・高齢者福祉・障害福祉」となっていて、「児童福祉」がないのは違和感がある。「児童福祉」を加えて、子どもの貧困対策等についての取組について取り上げてもらいたい。

事務局：児童福祉については、基本目標3の中に反映しているところだが、子どもの貧困対策を含め、場所については検討したい。

会長：先ほどの補足だが、P.25の魅力発信の関連施策は1つしかないので、回答にあつたように基本目標1、基本目標2の内容の追加をお願いしたい。

委員：P.24の基本目標4の「障害」は「障がい」と表記すべきでは

委員：国や福岡県では「障害」と表記しているため、「障害」の表記でも問題はない。

事務局：町では担当課で検討したうえ、「障害」と表記し統一している。

■資料2・資料3（P29以降）・参考資料①について

ポイント

- ・現状や課題、基本施策などについては、細かい表現などを修正しており、課題が基本施策に繋がるように組み立てている。
- ・ホワイトスペースには、写真やイラストを入れる予定である。
- ・SDGs、Society5.0、新型コロナウイルスなどの本町を取り巻く社会情勢の変化については、これから10年間でおさえておくべき事項としており、特に関係が深いところでは、現状・課題に盛り込んでいる。
- ・住民に伝わりにくい用語については、本編の後ろに用語解説一覧を盛り込み、対応する予定である。また、今までの審議会の経過なども掲載予定である。
- ・まちづくりの成果指標については、担当課と協議し、設定を行った。参考資料①ではまちづくりの成果指標を一覧にまとめ、それに付随する実施計画で図る指標についても示している。実施計画の指標については、毎年確認を行う。
- ・参考資料①では審議会でもいただいた意見を施策ごとに振り分け、まとめている。実施計画において事業を考える際に参考とするため、各課と共有を行っている。

<質疑>

●基本施策（P. 29 以降）について

委員：全体的に、現状と課題について「～求められています」「～が必要です」「～必要があります」などの表記がバラバラなので表現の統一を検討した方がよい。

P. 50 の施策 2 は現状・課題で生涯学習活動が行われているとの記載があるので、取り組まれているのであれば、「さらに広げるため」にした方がよい。また、「住民が学べる機会」は「機会」でなく「場」にした方がしっくりくるのでは。

事務局：全体の表現の統一は検討したい。P. 50 については表現を検討したい。

会長：重点テーマの関連で、魅力発信のテーマに基本目標 1 を盛り込むうえで、P. 32 の中で施策 5 として「自然の魅力の情報発信」に関する内容を追加した方がよいと思う。

事務局：意見をふまえ、追加を検討したい。

委員：まちづくりの成果指標の目標値は 10 年後となっているが、その進捗状況については実施計画の中で評価するのか。

事務局：事務事業評価の中で毎年指標などについて確認し、評価を行っている。総合計画に挙げているまちづくりの成果指標については、1 年ごとに成果が図れる指標については把握していくが、アンケートを目標指標にしているところについては中間年度の 5 年後に確認する予定である。

会長：今のご意見のような内容について、計画に盛り込んだ方がよいのでは。

事務局：検討したい。

委員：P. 21 の将来像の背景で「新しい生活様式をめざしていく」のような文言を入れるべきではないか。

事務局：追記ができるか検討したい。

会長：資料編については、指標一覧、用語集、策定経過を載せる認識でよいか

事務局：総合計画に載せる資料編には、用語集と審議会の策定経過を反映するかたちで考えている。参考資料①で示している指標一覧については毎年度更新する指標などもあるため、資料編には入れない。ただし、指標一覧に載せている委員の意見については所管課と共有していきたい。

委員：協働というかたちが、「みんなでつくる」という表現に計画ではまとまったが、行政責務として取り組むべき責務があると考えてる中で、P. 28 に示す行政の立場は弱く、「行政は何をするのか」ということを町民から指摘されないか心配である。協働の中での行政の責務について町民にも伝えていくことが必要であると思う。

事務局：P. 27 の中で行政の役割について表現することを検討したい。

以上